

講座名「行徳の魅力に触れる～神輿づくりと祭り」

講座のねらい

行徳で伝統的に行われている祭りと神輿づくりにスポットを当て、市川行徳ふれあい伝承館や中台神輿ミュージアムなどの見学を通してその魅力を繙き、地元の文化や歴史への理解を深める。

講師：行徳まちづくり協議会副会長 鹿島吉夫 氏

第1回（5月24日） 伝統的な祭りの様子について館内で講習後、神明豊受神社へ。
実際のお祭りで使用する神輿を間近で見て触れることができました。



常夜灯公園を経て、伝承館へ。

地域の方の説明を伺いながら浅子周慶作の神輿や神輿づくりの資料を見て、神輿の町・行徳の歴史を学びました。

第2回（5月31日） 中台製作所の神輿ミュージアムへ



神輿の仕組みや出来上がるまでの工程について説明を聞き、実際の作業現場を見学。その壮大さときめ細やかさに受講生のみなさん感激していました。

参加者の声

- ・神輿づくりの現場を見ることができてよかった。
- ・外に出て街角を見たり神輿を見たりすることで、行徳地域に対する実感を得ることができた。
- ・講師の説明は心がこもっていて、とてもわかりやすかった。
- ・本行徳公民館ならではの企画だった。

成果と課題

本館の年間テーマのひとつである「地域の特色を重視した講座」を立案するにあたり、今回は特に行徳地域の祭りと神輿づくりにスポットを当て、実際の現場を見学することで学びを深める内容を心がけた。

講座の運営には、行徳地域の振興のために活動している「行徳まちづくり協議会」の方々の協力をいただき、館外を移動する途中にも要所要所で行徳の歴史に関するお話をしていただいた。地元のことをよく知りたいと集まった多くの受講生には、「行徳」への理解と愛着をより一層深めていただけたと思う。講師の鹿島氏は、行徳てらまち会、行徳まちづくり協議会、いずれの組織でも中心的な存在である。今回、祭りに詳しい地元の重鎮が快く説明役を引き受けてくださったのも鹿島氏のおかげである。何よりこの行徳を愛しており、熱い説明ぶりは、受講者にも伝わったようだ。

歴史関連の講座は参加者の多くがシニア層に偏りがちだが、私自身は10代の若者にこそ見てもらいたいという思いを強くした。今後、若者に対してアピールできるような内容も考えてみたいと思う。